

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2007年4月10日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に中国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 A株マザーファンド 中国本土の取引所に上場している株式 中国利回り株アルファ・マザーファンド 中国の取引所（上海、深センおよび香港等）に上場している株式
当ファンドの運用方法	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に以下の運用を行います。 ■主として中国国内で事業展開し、上海・深セン・香港等の取引所に上場している株式に投資します。 ■中国利回り株アルファ・マザーファンドの運用にあたっては、スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（ホンコン）リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。 ■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や配当利回りの水準等を勘案して厳選します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 A株マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 中国利回り株アルファ・マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年3月10日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の配当等収益と有価証券売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

三井住友・ 中国A株・ 香港株オープン

【運用報告書（全体版）】

（2025年3月11日から2026年3月10日まで）

第 **19** 期
決算日 2026年3月10日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に中国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

三井住友・中国A株・香港株オープン

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) CSI300インデックス		(参考指数) MSCIチャイナ・ インデックス(円換算ベース)		株式組入率	投資信託 組入率	純資産額
	(分配落) 円	税金 円	期中騰落率	(円換算ベース) 期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率				
15期(2022年3月10日)	21,086	244	△7.7	165.65	△6.4	131.01	△32.0	89.9	1.0	1,738
16期(2023年3月10日)	21,093	334	1.6	167.47	1.1	139.33	6.4	93.3	0.9	1,634
17期(2024年3月11日)	17,523	326	△15.4	154.48	△7.8	125.32	△10.1	91.7	1.0	1,238
18期(2025年3月10日)	18,502	500	8.4	171.20	10.8	183.14	46.1	92.4	—	1,196
19期(2026年3月10日)	24,117	680	34.0	224.82	31.3	198.74	8.5	93.9	—	1,407

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) CSI300インデックス		(参考指数) MSCIチャイナ・ インデックス(円換算ベース)		株式組入率	投資信託 組入率
	騰落率	(円換算ベース) 騰落率	騰落率	騰落率				
(期首) 2025年3月10日	円	%	(円換算ベース)	%	(円換算ベース)	%	%	%
3月末	18,502	—	171.20	—	183.14	—	92.4	—
4月末	18,521	0.1	171.97	0.4	180.52	△1.4	92.9	—
5月末	17,035	△7.9	157.90	△7.8	161.16	△12.0	92.7	—
6月末	17,947	△3.0	164.85	△3.7	170.42	△6.9	94.9	—
7月末	18,534	0.2	168.95	△1.3	174.87	△4.5	93.4	—
8月末	20,163	9.0	183.89	7.4	190.02	3.8	94.2	—
9月末	21,163	14.4	196.29	14.7	191.92	4.8	93.9	—
10月末	21,884	18.3	206.01	20.3	211.92	15.7	94.2	—
11月末	22,883	23.7	217.72	27.2	217.59	18.8	93.5	—
12月末	23,094	24.8	213.04	24.4	211.45	15.5	92.9	—
2026年1月末	23,739	28.3	221.14	29.2	208.08	13.6	90.8	—
2月末	24,547	32.7	224.11	30.9	218.72	19.4	91.9	—
(期末) 2026年3月10日	25,578	38.2	229.64	34.1	203.36	11.0	93.3	—
	24,797	34.0	224.82	31.3	198.74	8.5	93.9	—

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

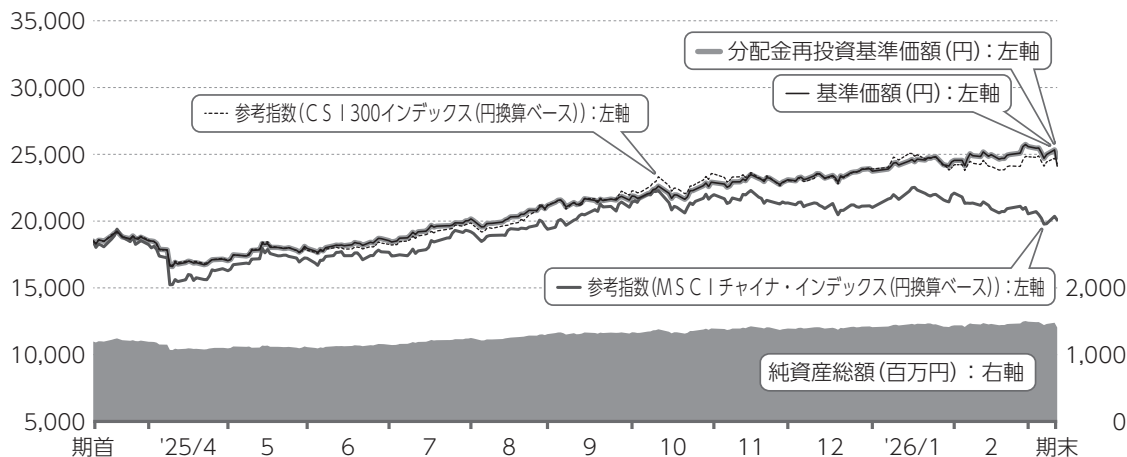
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	18,502円
期末	24,117円 (既払分配金680円(税引前))
騰落率	+34.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、CSI 300インデックス(円換算ベース)およびMSCIチャイナ・インデックス(円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として中国国内で事業展開し、上海・深セン・香港等の取引所に上場している株式に投資を行いました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 4月上旬から10月下旬にかけて、中国政府による国内経済の回復に向けた景気浮揚策や、中国人民銀行(中央銀行)の金融緩和策がA株市場・香港株式市場に好感されたこと
- 特に7月から9月にかけて、半導体やAI(人工知能)の国産化政策の推進に伴い、テクノロジー関連銘柄を中心にA株市場・香港株式市場が上昇したこと
- 期を通じて人民元高・円安、香港ドル高・円安となったこと

下落要因

- 期初に米トランプ政権の関税政策に伴う米中貿易摩擦の激化懸念などから、A株市場・香港株式市場が急落したこと

投資環境について(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

本土A株市場、香港株式市場は上昇しました。また、為替市場は人民元、香港ドルいづれも円に対して上昇しました。

本土A株市場・香港株式市場

本土A株市場、香港株式市場は、期初、米国の関税策に対する中国の報復関税発表などで米中貿易摩擦の激化が懸念され、4月にかけて市場は急落しました。その後、米中が追加関税の税率引き下げで合意したことや、中国人民銀行の利下げなどを受け相場は反発しました。

4月上旬から10月下旬にかけて、米中通商関係の改善期待に加え、中央財經委員会にて、国内企業による過度な価格競争に対する規制を強化する方針が示されたことなどが好感され、株価は上昇しました。特に7月から9月にかけては、半導体やAIの国産化政策が推進される中、テクノロジー関連株を支える好材料が相次ぎ、関連銘柄の物色が続きました。

10月下旬から期末にかけては、中国政府がレアアース(希土類)の輸出を制限したことから再び米中貿易摩擦への懸念が高まったことや、不動産大手の債務不履行懸念から上値が重い展開となりました。その後も、中東情勢の悪化により株価は期初からの上げ幅を縮小しました。

為替市場

米ドル・円は、期初にトランプ米政権による追加関税への懸念などから一時米ドル安・円高が進む場面もありましたが、その後は日米金利差が意識され、底堅く推移しました。9月以降は、日本の新政権による積極財政への思惑や、底堅い米経済を示唆する経済指標の発表などを受けて米ドル高・円安が加速しました。年明け後には、日米通貨当局による為替介入への警戒感や米大統領のドル安容認発言などで急落する局面も見られましたが、3月に入ると中東情勢の緊迫化を背景とした安全資産としての米ドル買いが強まり、期を通じて見ると米ドル高・円安となりました。この期間、香港ドル・円も、概ね米ドル・円に沿った動きとなり、期を通じては香港ドル高・円安となりました。

人民元・米ドルは、人民元安・米ドル高となる局面も見られましたが、米国の財政問題への懸念やFRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ観測の高まりなどを受けて、人民元高・米ドル安基調となりました。期中から期末にかけては、9月にFRBが利下げを再開したことや、中国国内の株高なども支えとなり、人

民元高・米ドル安が一段と進みました。また、当局が一段の元高を容認しているとの見方も広がったことや、中国の貿易黒字の拡大も人民元高・米ドル安を進める材料となりました。

また、米ドルが円に対して上昇していたこともあり、通期では人民元も円に対して上昇しました。

ポートフォリオについて(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

当ファンド

「A株マザーファンド」の組み入れを多めとした運用を行いました。期末の各マザーファンドの配分は「A株マザーファンド」61.2%、「中国利回り株アルファ・マザーファンド」37.7%としました。また、実質株式組入比率(投資信託含む)は93.9%としました。

A株マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位の水準を維持しました。

●個別銘柄

競争力のある中核事業を有し、独自の技術や商品開発力により、持続的な成長が期待できる銘柄を中心としたポートフォリオ運営を行いました。

期中は、希少なリン鉱石の採掘権を持つ湖北興発化工集団や、出遅れ感が目立つ国泰海通証券、AI関連需要による成長が期待されるエスプレッシフ・システムズなどを組み入れました。

一方、株価上昇により割安感が後退した寧波銀行のほか、中国移动や中国电信などの通信関連銘柄を売却しました。

中国利回り株アルファ・マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位の水準を維持しました。

●個別銘柄

配当利回りや成長性、流動性等の観点から銘柄入れ替えを行いました。

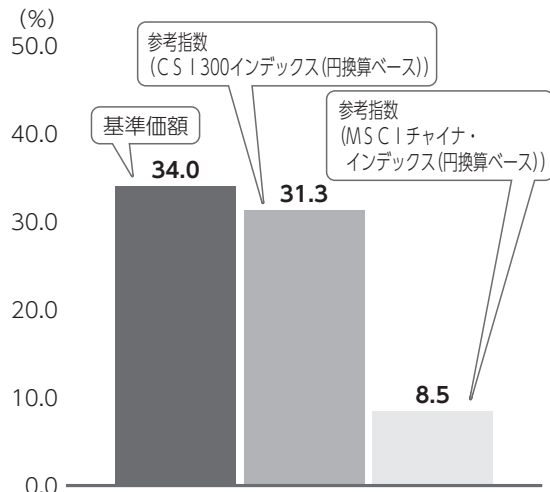
期中は、相対的に高い配当利回りとバリュエーション(投資価値評価)の割安感が評価

できる保険大手の中国平安保険や、乳製品大手の内蒙古伊利実業集団などを購入しました。

一方、これまでの株価上昇により配当利回りの魅力が相対的に低下した中国人寿保険やスポーツ用品・アパレル販売大手のトップスポーツ・インターナショナルを売却しました。そのほか、高速道路運営の深圳高速公路や、食品・飲料の統一企業中国などを売却しました。

ベンチマークとの差異について(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてCSI 300インデックス(円換算ベース)およびMSCIチャイナ・インデックス(円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第19期
当期分配金	680
(対基準価額比率)	(2.74%)
当期の収益	680
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,898

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「A株マザーファンド」と「中国利回り株アルファ・マザーファンド」を通じて運用を行いますが、「A株マザーファンド」を高位に組み入れた運用を行います。

A株マザーファンド

世界の株式市場は、関税政策に対する警戒感は緩和していますが、トランプ米大統領による強硬的な政策姿勢が再び強まっており、相場の波乱要因となるリスクが高まりつつあります。関税政策の緩和や金融政策の緩和への期待は既に織り込みが進んでおり、株式市場は当面新規材料に乏しく、上値の重い展

開となりそうです。ただし、年央に向かって、財政投入による景気押し上げ効果に加えて、企業業績の堅調さが続くとの見方から、徐々にレンジを切り上げる展開を予想します。

中国本土A株市場は、貿易協議を巡る不透明感や中東における紛争などがリスク要因として残ります。一方、テクノロジー産業への投資や生産拡大が景気を下支えしていることから、底堅い推移が見込まれ、また中国人民銀行による金融緩和の継続や中国政府による消費刺激策などの政策的支援、新興国向けを中心とした底堅い輸出などが中国景気を下支えするとみられる点も、株式市場の支援材料となります。

今後の運用方針としましては、業種では、資本財やテクノロジー・ハードウェア・機器、

素材等を中心に、競争力のある中核事業を有し、独自の技術や商品開発力により、持続的な成長が期待できる銘柄を厳選投資する方針です。

中国利回り株アルファ・マザーファンド

香港株式市場についても、本土A株市場と同様の動きを予想しています。

今後の運用方針としましては、引き続き、配当利回りや成長性、流動性等を考慮しつつ、厳選投資する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2025年4月1日)

1万口当たりの費用明細 (2025年3月11日から2026年3月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	417円	1.980%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は21,040円です。
(投信会社)	(197)	(0.935)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(197)	(0.935)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(23)	(0.110)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	44	0.210	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(44)	(0.210)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	14	0.068	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(14)	(0.068)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	44	0.208	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.093)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(23)	(0.111)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用(マザーファンドで支払った現地監査法人による中国QFII(適格国外機関投資家)口座にかかる監査費用を含みます。)
合計	519	2.467	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

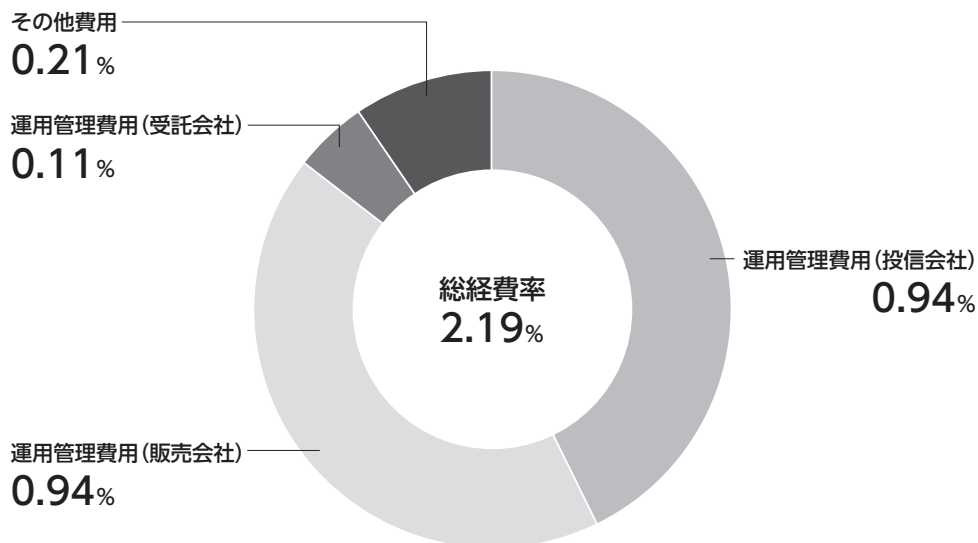
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.19%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2025年3月11日から2026年3月10日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
中国利回り株アルファ・マザーファンド	14,811	92,000	31,953	175,000
A株マザーファンド	—	—	26,218	115,000

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

項 目	当 期	
	中国利回り株アルファ・マザーファンド	A株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,589,450千円	1,471,166千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,516,942千円	888,823千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.04	1.65

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年3月11日から2026年3月10日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2026年3月10日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
中国利回り株アルファ・マザーファンド	104,296	87,153	530,802
A株マザーファンド	212,623	186,404	860,891

※各親投資信託の期末の受益権総口数は以下の通りです。

中国利回り株アルファ・マザーファンド 265,273,319口 A株マザーファンド 225,792,085口

■ 投資信託財産の構成

(2026年3月10日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
中国利回り株アルファ・マザーファンド	530,802	36.3
A株マザーファンド	860,891	58.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	70,563	4.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,462,257	100.0

※中国利回り株アルファ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(1,569,499千円)の投資信託財産総額(1,676,600千円)に対する比率は93.6%です。

※A株マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(1,034,055千円)の投資信託財産総額(1,044,346千円)に対する比率は99.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.73円、1香港・ドル=20.17円、1中国・元=22.82円、1オフショア・人民元=22.861円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年3月10日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,462,257,158円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	26,563,107
中国利回り株アルファ・マザーファンド(評価額)	530,802,599
A株マザーファンド(評価額)	860,891,452
未 収 入 金	44,000,000
(B) 負 債	55,055,561
未 払 収 益 分 配 金	39,676,802
未 払 解 約 金	1,569,582
未 払 信 託 報 酬	13,778,652
そ の 他 未 払 費 用	30,525
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,407,201,597
元 本	583,482,385
次 期 繰 越 損 益 金	823,719,212
(D) 受 益 権 総 口 数	583,482,385口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	24,117円

※当期における期首元本額646,536,211円、期中追加設定元本額264,296円、期中一部解約元本額63,318,122円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2025年3月11日 至2026年3月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	90,037円
受 取 利 息	90,037
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	392,473,734
売 買 益	411,754,506
売 買 損	△ 19,280,772
(C) 信 託 報 酬 等	△ 25,575,645
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	366,988,126
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	518,935,439
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 22,527,551
(配 当 等 相 当 額)	(23,058,691)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 45,586,242)
(G) 合 計 (D + E + F)	863,396,014
(H) 収 益 分 配 金	△ 39,676,802
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	823,719,212
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 22,527,551
(配 当 等 相 当 額)	(23,059,254)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 45,586,805)
分 配 準 備 積 立 金	846,246,763

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するため要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は2,563,779円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,300,460円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	109,477,885
(c) 収益調整金	23,059,254
(d) 分配準備積立金	739,145,220
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	908,982,819
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	15,578.58
(f) 分配金	39,676,802
1 万 口 当 た り 分 配 金	680

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	680円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

A株マザーファンド

第19期（2025年3月11日から2026年3月10日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年4月10日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 主として中国国内で事業展開し、中国本土の取引所に上場している人民元建の株式（A株）に投資し、信託財産の成長を目指した運用を行います。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数） CSI300インデックス		株式組入率	純資産額
	円	騰落率	（円換算ベース）	騰落率		
15期(2022年3月10日)	36,508	3.1%	165.65	△6.4%	92.6%	1,423
16期(2023年3月10日)	37,003	1.4%	167.47	1.1%	93.8%	1,256
17期(2024年3月11日)	31,365	△15.2%	154.48	△7.8%	93.2%	944
18期(2025年3月10日)	32,297	3.0%	171.20	10.8%	94.3%	836
19期(2026年3月10日)	46,184	43.0%	224.82	31.3%	95.1%	1,042

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数） CSI300インデックス		株式組入率
	円	騰落率	（円換算ベース）	騰落率	
(期首) 2025年3月10日	32,297	—	171.20	—	94.3%
3月末	32,527	0.7%	171.97	0.4%	94.3%
4月末	29,728	△8.0%	157.90	△7.8%	93.2%
5月末	30,922	△4.3%	164.85	△3.7%	95.4%
6月末	31,407	△2.8%	168.95	△1.3%	93.1%
7月末	34,204	5.9%	183.89	7.4%	94.0%
8月末	37,098	14.9%	196.29	14.7%	93.8%
9月末	39,054	20.9%	206.01	20.3%	93.9%
10月末	41,131	27.4%	217.72	27.2%	92.9%
11月末	40,905	26.7%	213.04	24.4%	91.6%
12月末	43,248	33.9%	221.14	29.2%	91.4%
2026年1月末	44,994	39.3%	224.11	30.9%	91.9%
2月末	47,621	47.4%	229.64	34.1%	94.8%
(期末) 2026年3月10日	46,184	43.0%	224.82	31.3%	95.1%

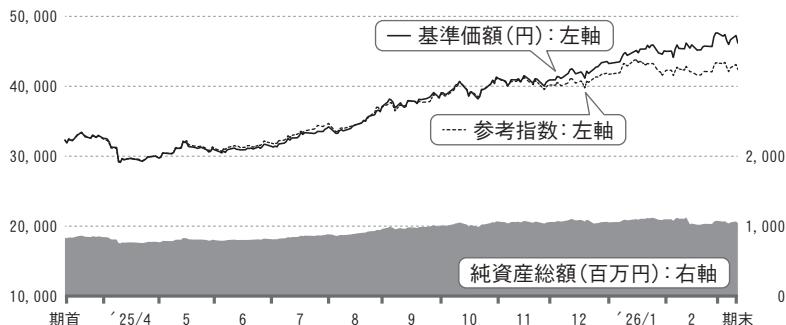
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2025年3月11日から2026年3月10日まで）

基準価額等の推移



期首	32,297円
期末	46,184円
騰落率	+43.0%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、CSI300インデックス（円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2025年3月11日から2026年3月10日まで）

当ファンドは、主として中国国内で事業展開し、中国本土の取引所（上海、深セン）に上場している人民元建ての株式（上海A株、深センA株）に投資しました。

外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- ・4月上旬から10月下旬にかけて、中国政府による国内経済の回復に向けた景気浮揚策や、中国人民銀行（中央銀行）の金融緩和策がA株市場に好感されたこと
- ・特に7月から9月にかけて、半導体やAI（人工知能）の国産化政策の推進に伴い、テクノロジー関連銘柄を中心にA株市場が上昇したこと
- ・期を通じて人民元高・円安、香港ドル高・円安となったこと

下落要因

- ・期初に米トランプ政権の関税政策に伴う米中貿易摩擦の激化懸念などから、A株市場が急落したこと

▶ 投資環境について（2025年3月11日から2026年3月10日まで）

本土A株市場は上昇しました。また、人民元は円に対して上昇しました。

本土A株市場

期初は米国の関税策に対する中国の報復関税発表などで米中貿易摩擦の激化が懸念され、4月にかけて市場は急落しました。その後、米中が追加関税の税率引き下げで合意したことや、中国人民銀行の利下げなどを受け相場は反発しました。

4月上旬から10月下旬にかけて、米中通商関係の改善期待に加え、中央財經委員会にて、国内企業による過度な価格競争に対する規制を強化する方針が示されたことなどが好感され、株価は上昇しました。特に7月から9月にかけては、半導体やAIの国産化政策が推進される中、テクノロジー関連株を支える好材料が相次ぎ、関連銘柄の物色が続きました。

10月下旬から期末にかけては、中国政府がレアアース（希土類）の輸出を制限したことから再び米中貿易摩擦への懸念が高まったことや、不動産大手の債務不履行懸念から上値が重い展開となりました。その後も、中東情勢の悪化により株価は期初からの上げ幅を縮小しました。

為替市場

人民元・米ドルは、トランプ米政権による追加関税への懸念などから人民元安・米ドル高となる局面も見られましたが、米国の財政問題への懸念やFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ観測の高まりなどを受けて、人民元高・米ドル安基調となりました。期中から期末にかけては、9月にFRBが利下げを再開したことや、中国国内の株高なども支えとなり、人民元高・米ドル安が一段と進みました。また、当局が一段の元高を容認しているとの見方も広がったことや、中国の貿易黒字の拡大も人民元高・米ドル安を進める材料となりました。

また、米ドルが円に対して上昇していたこともあり、通期では人民元も円に対して上昇しました。

▶ ポートフォリオについて（2025年3月11日から2026年3月10日まで）

株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位の水準を維持しました。

個別銘柄

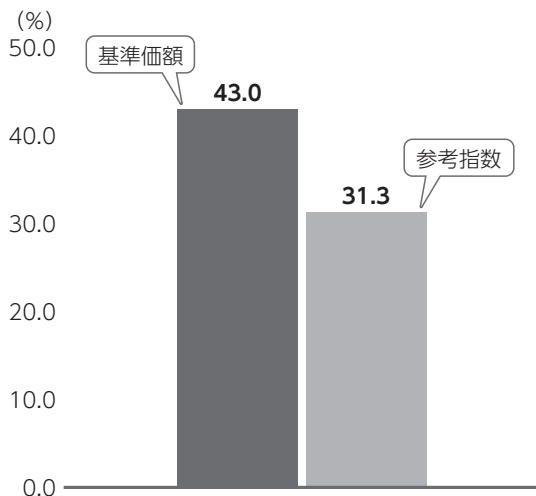
競争力のある中核事業を有し、独自の技術や商品開発力により、持続的な成長が期待できる銘柄を中心としたポートフォリオ運営を行いました。

期中は、希少なリン鉱石の採掘権を持つ湖北興発化工集団や、出遅れ感が目立つ国泰海通証券、AI関連需要による成長が期待されるエスプレッシフ・システムズなどを組み入れました。

一方、株価上昇により割安感が後退した寧波銀行のほか、中国移动や中国电信などの通信関連銘柄を売却しました。

▶ ベンチマークとの差異について（2025年3月11日から2026年3月10日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてCSI 300インデックス（円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

世界の株式市場は、関税政策に対する警戒感は緩和していますが、トランプ米大統領による強硬的な政策姿勢が再び強まっており、相場の波乱要因となるリスクが高まりつつあります。関税政策の緩和や金融政策の緩和への期待は既に織り込みが進んでおり、株式市場は当面新規材料に乏しく、上値の重い展開となりそうです。ただし、年央に向かって、財政投入による景気押し上げ効果に加えて、企業業績の堅調さが続くとの見方から、徐々にレンジを切り上げる展開を予想します。

中国本土A株市場は、貿易協議を巡る不透明感や中東における紛争などがリスク要因として残ります。一方、テクノロジー産業への投資や生産拡大が景気を下支えしていることから、底堅い推移が見込まれ、また中国人民銀行による金融緩和の継続や中国政府による消費刺激策などの政策的支援、新興国向けを中心とした底堅い輸出などが中国景気を下支えするとみられる点も、株式市場の支援材料となります。

今後の運用方針としましては、業種では、資本財やテクノロジー・ハードウェア・機器、素材等を中心に、競争力のある中核事業を有し、独自の技術や商品開発力により、持続的な成長が期待できる銘柄を厳選投資する方針です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2025年3月11日から2026年3月10日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	79円 (79)	0.212% (0.212)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	19 (19)	0.052 (0.052)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	100 (33) (68)	0.270 (0.088) (0.182)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：現地監査法人による中国 Q F I I (適格国外機関投資家)口座にかかる監査費用等
合 計	199	0.534	

期中の平均基準価額は37,220円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

A株マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2025年3月11日から2026年3月10日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	中 国	百株 14,784 (224.04)	千中国・元 32,002 (-)	百株 16,676.28	千中国・元 37,609

※金額は受渡し代金。

※ () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,471,166千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	888,823千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.65

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年3月11日から2026年3月10日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年3月11日から2026年3月10日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

A株マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2026年3月10日現在)

外国株式

銘柄	株数	期末				業種等
		株数	評価額		千円	
			株数	外貨建金額		
(中国)	百株	百株	千中国・元	千円		
BEONE MEDICINES LTD-A	48	19	442	10,097	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JIANGSU HENGLI HYDRAULIC C-A	-	108	1,181	26,962	資本財	
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	345	-	-	-	半導体・半導体製造装置	
FOCUS MEDIA INFORMATION TE-A	1,410	1,423	949	21,659	メディア・娯楽	
SHENZHEN ENVICOOL TECHNOLO-A	92	-	-	-	資本財	
CHINA TELECOM CORP LTD-DM -A	1,428	-	-	-	電気通信サービス	
CHINA RESOURCES SANJIU MED-A	251.1	-	-	-	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SHANGHAI BOCHU ELECTRONIC-A	49.4	-	-	-	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
FOXCONN INDUSTRIAL INTERNE-A	230	77	406	9,276	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
JCET GROUP CO LTD-A	153	-	-	-	半導体・半導体製造装置	
ZHEJIANG YINLUN MACHINERY -A	-	243	1,264	28,852	自動車・自動車部品	
CHINA MERCHANTS EXPRESSWAY-A	732	-	-	-	運輸	
CNOOC LTD-A	-	270	1,170	26,716	エネルギー	
CHINA MOBILE LTD-A	100	-	-	-	電気通信サービス	
SIEYUAN ELECTRIC CO LTD-A	179	148	3,390	77,362	資本財	
CHINA CONSTRUCTION BANK-A	515	1,024	927	21,171	銀行	
SUZHOU TFC OPTICAL COMMUNI-A	85	26	798	18,212	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
WEICHAI POWER CO LTD-A	480	480	1,279	29,202	資本財	
CHINA YANGTZE POWER CO LTD-A	236	-	-	-	公益事業	
CHINA CSSC HOLDINGS LTD-A	212	-	-	-	資本財	
CHINA INTL MARINE CONTAIN-A	588	-	-	-	資本財	
CHINA RESOURCES JIANGZHONG-A	180	-	-	-	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FUYAO GLASS INDUSTRY GROUP-A	170	109	630	14,389	自動車・自動車部品	
XCMG CONSTRUCTION MACHIN-A	590	1,073	1,263	28,844	資本財	
ZIJIN MINING GROUP CO LTD-A	450	225	819	18,689	素材	
AVARY HOLDING SHENZHEN CO -A	-	131	659	15,057	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ZHEJIANG ZHENENG ELECTRIC-A	810	-	-	-	公益事業	
YUTONG BUS CO LTD-A	454	321	945	21,565	資本財	
HUNAN YUNENG NEW ENERGY BA-A	150	-	-	-	資本財	
SAIC MOTOR CORP LTD-A	429	-	-	-	自動車・自動車部品	
NINGBO TUOPU GROUP CO LTD-A	71	-	-	-	自動車・自動車部品	
SPRING AIRLINES CO LTD-A	80	-	-	-	運輸	
YUANJIE SEMICONDUCTOR TECH-A	27	13	1,048	23,919	半導体・半導体製造装置	
ESPRESSIF SYSTEMS SHANGHAI-A	-	39	596	13,603	半導体・半導体製造装置	
BANK OF JIANGSU CO LTD-A	1,452	646	676	15,434	銀行	
PICC HOLDING CO-A	-	930	784	17,912	保険	
XIAMEN TUNGSTEN CO LTD-A	-	135	967	22,088	素材	
GUOTAI HAITONG SECURITIES CO	-	263	473	10,815	金融サービス	
ALUMINUM CORP OF CHINA LTD-A	-	900	1,261	28,794	素材	
JIANGSU YUNYI ELECTRIC CO -A	-	400	588	13,427	自動車・自動車部品	
AMLOGIC SHANGHAI INC-A	-	55	486	11,107	半導体・半導体製造装置	
HUBEI XINGFA CHEMICALS GRP-A	-	415	1,627	37,133	素材	
UNICOMP TECHNOLOGY GROUP-A	-	78	586	13,383	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ZHEJIANG SONGYUAN AUTOMOTI-A	-	190	440	10,059	自動車・自動車部品	

A株マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
NINGBO ZHENYU TECHNOLOGY C-A	—	—	60	933	21,304	資本財
ZHAOJIN INTERNATIONAL GOLD-A	—	—	296	599	13,691	素材
TONGKUN GROUP CO LTD-A	—	—	240	491	11,205	素材
ZHEJIANG NHU CO LTD-A	—	—	135	488	11,152	素材
SHENGYI TECHNOLOGY CO LTD -A	209	—	112	682	15,570	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WANHUA CHEMICAL GROUP CO -A	139	—	—	—	—	素材
KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	7.64	7.64	—	1,067	24,356	食品・飲料・タバコ
LUZHOU LAOJIAO CO LTD-A	83	—	—	—	—	食品・飲料・タバコ
CHINA MERCHANTS BANK-A	336	—	349	1,353	30,893	銀行
CITIC SECURITIES CO-A	—	—	288	745	17,008	金融サービス
SHANXI XINGHUACUN FEN WINE-A	54	—	48	763	17,433	食品・飲料・タバコ
PING AN INSURANCE GROUP CO-A	216.74	—	253.74	1,557	35,553	保険
SHENZHEN SUNLORD ELECTRONICS-A	—	—	106	411	9,400	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BANK OF NINGBO CO LTD -A	340.69	—	—	—	—	銀行
JIANGSU YOKE TECHNOLOGY-A	128	—	—	—	—	素材
WUS PRINTED CIRCUIT KUNSHA-A	—	—	104	771	17,607	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LUXSHARE PRECISION INDUSTR-A	183	—	140	651	14,855	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NAURA TECHNOLOGY GROUP CO-A	21	—	25.35	1,147	26,184	半導体・半導体製造装置
ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A	—	—	17	894	20,405	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MIDEA GROUP CO LTD-A	195.86	—	102.86	775	17,700	耐久消費財・アパレル
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	72	—	72	2,574	58,739	資本財
WUXI APPTec CO LTD-A	—	—	45	409	9,355	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A	30	—	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
YIFENG PHARMACY CHAIN CO L-A	—	—	150	360	8,218	生活必需品流通・小売り
WUXI LEAD INTELLIGENT EQUI-A	—	—	134	665	15,182	資本財
PROYA COSMETICS CO LTD-A	62.4	—	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
HUIZHOU DESAY SV AUTOMOTIV-A	61	—	41	467	10,658	自動車・自動車部品
小計	株数・金額	14,135.83	12,467.59	43,479	992,219	
	銘柄数<比率>	46銘柄	48銘柄	—	<95.1%>	
合計	株数・金額	14,135.83	12,467.59	—	992,219	
	銘柄数<比率>	46銘柄	48銘柄	—	<95.1%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2026年3月10日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
株	992,219	95.0
コール・ローン等、その他	52,126	5.0
投資信託財産総額	1,044,346	100.0

※期末における外貨建資産(1,034,055千円)の投資信託財産総額(1,044,346千円)に対する比率は99.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.73円、1中国・元=22.82円です。

A株マザーファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年3月10日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,044,346,366円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	52,126,597
株 式 (評 価 額)	992,219,769
(B) 負 債	1,537,511
そ の 他 未 払 費 用	1,537,511
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,042,808,855
元 本	225,792,085
次 期 繰 越 損 益 金	817,016,770
(D) 受 益 権 総 口 数	225,792,085口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	46,184円

※当期における期首元本額258,924,573円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額33,132,488円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

三井住友・中国A株・香港株オープン 186,404,697円
三井住友・A株メインランド・チャイナ・オープン 39,387,388円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2025年3月11日 至2026年3月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	22,145,124円
受 取 配 当 金	22,041,947
受 取 利 息	103,177
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	333,147,852
売 買 益	433,535,762
売 買 損	△100,387,910
(C) そ の 他 費 用 等	△ 2,743,492
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	352,549,484
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	577,334,798
(F) 解 約 差 損 益 金	△112,867,512
(G) 合 計 (D + E + F)	817,016,770
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	817,016,770

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※その他費用等には、現地監査法人による中国QFII(適格国外機関投資家)口座にかかる監査費用(1,627,205円相当)や保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)

中国利回り株アルファ・マザーファンド

第39期（2025年4月16日から2025年10月15日まで）

信託期間	無期限（設定日：2006年4月28日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として中国の取引所（上海、深センおよび香港等）に上場している株式を対象として、利回り株による安定的な分配とリーディングカンパニー等の成長性に着目した投資により、信託財産の成長を目指した運用を行います。 ・運用にあたっては、運用委託契約に基づき運用の指図に関する権限の一部をスミトモ ミツイ D S アセットマネジメント（ホンコン）リミテッドに委託します。 ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIチャイナ・インデックス		株式組入率 比	投資信託 組入率 比	純資産額
	円	騰落率	(円換算ベース)	騰落率			
35期（2023年10月16日）	40,096	△ 5.3	201.25	△ 2.3	91.9	2.8	1,586
36期（2024年4月15日）	39,339	△ 1.9	194.88	△ 3.2	92.1	1.7	1,471
37期（2024年10月15日）	46,862	19.1	241.90	24.1	95.2	—	1,440
38期（2025年4月15日）	43,807	△ 6.5	229.58	△ 5.1	94.0	—	1,395
39期（2025年10月15日）	55,984	27.8	298.91	30.2	95.7	—	1,522

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。
 ※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。
 ※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。
 ※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

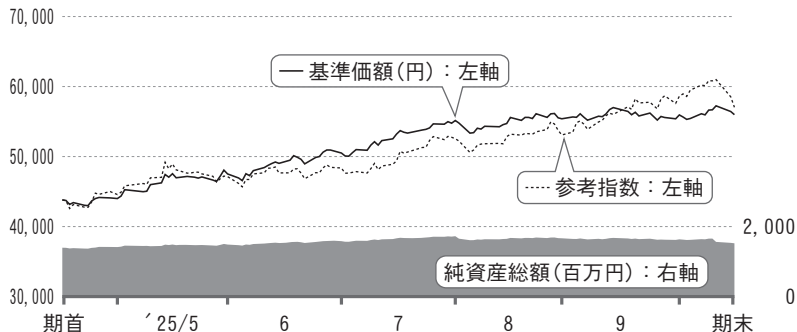
年月日	基準価額		(参考指数) MSCIチャイナ・インデックス		株式組入率 比	投資信託 組入率 比
	円	騰落率	(円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2025年4月15日	43,807	—	229.58	—	94.0	—
4月末	44,002	0.4	233.60	1.8	94.4	—
5月末	47,518	8.5	247.01	7.6	96.4	—
6月末	50,501	15.3	253.46	10.4	95.4	—
7月末	55,149	25.9	275.42	20.0	95.3	—
8月末	55,396	26.5	278.19	21.2	95.2	—
9月末	55,945	27.7	307.17	33.8	96.1	—
(期末) 2025年10月15日	55,984	27.8	298.91	30.2	95.7	—

※騰落率は期首比です。
 ※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2025年4月16日から2025年10月15日まで）

基準価額等の推移



期首	43,807円
期末	55,984円
騰落率	+27.8%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIチャイナ・インデックス（円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2025年4月16日から2025年10月15日まで）

当ファンドは、主として中国の取引所（上海、深センおよび香港等）に上場している株式を対象として、利回り株による安定的な分配とリーディングカンパニー等の成長性に着目して投資を行いました。

外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- ・米中の通商関係の改善期待が高まったことや過度な価格競争に対する規制強化の方針が示されたこと、テクノロジー関連株を支える好材料が相次いだことなどを受けて、期を通じて香港株式市場がほぼ一方通行で上昇したこと
- ・期を通じて香港ドル高・円安となったこと

▶ 投資環境について（2025年4月16日から2025年10月15日まで）

香港株式市場は上昇しました。また、為替市場は香港ドル高・円安となりました。

香港株式市場

香港株式市場は、期初めは、米国のトランプ大統領がスマートフォンなどの電子機器を相互関税の対象から除外したと報じられたことや、中国に対する関税率を引き下げの可能性があるとの報道されたことなどをを受けて、4月上旬の急落から反発しました。

5月中旬からは上昇ペースが鈍化しましたが、7月以降は、米半導体大手が中国向けの製品輸出を再開すると発表したことや、米中の閣僚が関税交渉を行うと報道されたことで、米国と中国の通商関係の改善期待が高まり、上昇が加速しました。中国では、中央財經委員会にて、国内企業による過度な価格競争に対する規制を強化する方針が示されたことなども好感されました。

その後も、半導体やAI（人工知能）の国産化政策が推進される中、テクノロジー関連株を支える好材料が相次ぎ、関連銘柄の物色が続きました。中国本土から香港市場への資金流入が続いたことも下支え要因となり、期を通じ、ほぼ一方通行での上昇となりました。

為替市場

米ドル・円は、米国が関税政策に関して譲歩の姿勢を見せたことや、日銀が7月の金融政策決定会合にて金融政策の現状維持を決める一方、FRB（米連邦準備制度理事会）は当面の利下げを明示せず、日米金利差が開いた状況が続くとの見方が強まったことなどをを受けて米ドル高・円安が緩やかに進行しました。その後、雇用市場の減速などをを受けてFRBは利下げを再開したものの、10月上旬の自民党総裁選で積極財政を掲げ、日銀の利上げにも慎重な姿勢の高市氏が勝利すると、対円での米ドル買いが加速し、期間を通じて見ると米ドル高・円安となりました。

香港ドル・円も、概ね米ドル・円に沿った動きとなり、期を通じては香港ドル高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて（2025年4月16日から2025年10月15日まで）

株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて概ね高位の水準を維持しました。

個別銘柄

引き続き、配当利回りや成長性、流動性等を考慮した運用を行いました。

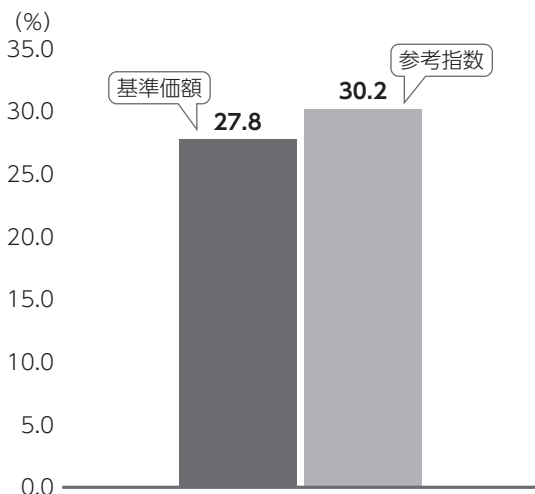
期中は、大手衣料品メーカーの申洲国際ホールディングや、設備投資サイクルがピークアウトし、今後の増配が期待されるフーヤオ・ガラスを購入しました。また、乳製品メーカーでサプライチェーン（供給網）の最適化やコストカットによる収益性改善が見込まれる内蒙古伊利実業集

団を購入しました。

一方、生命保険最大手の中国人寿保険のほか、客室の供給過剰や出張需要の鈍化懸念などからホテル運営会社のHワールド・グループを売却しました。年後半にかけて家電買い替えの補助金効果が息切れするとの懸念から、大手エアコンメーカーのグリーンエレクトリック・アプライアンスも売却しました。

▶ ベンチマークとの差異について（2025年4月16日から2025年10月15日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIチャイナ・インデックス（円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

世界の株式市場は、関税率の緩和などの楽観的な見方は既に織り込みが進んでおり、当面は新規材料に乏しく、上値の重い展開となりそうです。ただし、年末に向かって、米国における追加利下げ観測に加えて、企業業績も堅調を維持するとの見方から、徐々にレンジを切り上げる展開を予想します。

香港など中国の株式市場は、引き続き堅調な相場展開となっています。米国と中国の間で関税協議が継続しており、関税政策による影響などの不透明感は残りますが、中国政府が国内経済の回復に向けた景気浮揚策を強化していることや中国人民銀行（中央銀行）が金融緩和策を実施していること、テクノロジー産業に対する投資や生産活動が景気を下支えすることなどから、緩やかな上昇基調が持続するとみています。

今後の運用方針としましては、引き続き、配当利回りや成長性、流動性等を考慮しつつ、厳選投資する方針です。

中国利回り株アルファ・マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2025年4月16日から2025年10月15日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	48円 (48)	0.094% (0.094)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	23 (23)	0.045 (0.045)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	27 (27) (0)	0.053 (0.053) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	99	0.192	

期中の平均基準価額は51,558円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2025年4月16日から2025年10月15日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	香 港	百株 11,003	千香港・ドル 11,828	百株 20,082	千香港・ドル 21,842
	中 国	百株 1,699.36	千オフショア・人民元 2,702	百株 280	千オフショア・人民元 1,305

※金額は受渡し代金。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年4月16日から2025年10月15日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	721,236千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,512,481千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.47

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年4月16日から2025年10月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年4月16日から2025年10月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2025年10月15日現在)

外国株式

銘 柄	株 数	期首(前期末)	期 末		業 種 等	
			株 数	評 価 額		
				外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
AUTOHOME INC-ADR	70	70	187	28,485	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	70	70	187	28,485	
	1銘柄	1銘柄	—	<1.9%>		
(香港)	百株	百株	千香港・ドル	千円		
UNI-PRESIDENT CHINA HOLDINGS	3,000	1,500	1,266	24,699	食品・飲料・タバコ	
WH GROUP LTD	4,500	4,500	3,307	64,529	食品・飲料・タバコ	
BEST PACIFIC INTERNATIONAL H	—	5,000	1,570	30,630	耐久消費財・アパレル	
SHENZHEN EXPRESSWAY CORP-H	3,000	3,000	2,178	42,492	運輸	
CHINA COMMUNICATIONS SERVI-H	8,000	6,300	2,809	54,819	資本財	
SINOTRANS LIMITED-H	3,000	3,000	1,512	29,499	運輸	
ZHONGSHENG GROUP HOLDINGS	180	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り	
TOPSPORTS INTERNATIONAL HOLD	6,000	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り	
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	6,500	6,250	4,681	91,331	銀行	
NETEASE INC	187	50	1,141	22,260	メディア・娯楽	
CHINA RESOURCES LAND LTD	800	800	2,321	45,294	不動産管理・開発	
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	1,000	800	2,318	45,231	運輸	

中国利回り株アルファ・マザーファンド

銘 柄	期首(前期末)		期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
H WORLD GROUP LTD	402	—	—	—	消費者サービス	
CRRC CORP LTD - H	2,520	2,520	1,575	30,728	資本財	
CHOW TAI FOOK JEWELLERY GROU	3,300	2,200	3,214	62,709	一般消費財・サービス流通・小売り	
MGM CHINA HOLDINGS LTD	—	1,500	2,068	40,356	消費者サービス	
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	—	400	2,448	47,760	耐久消費財・アパレル	
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	—	400	2,120	41,361	保険	
PICC PROPERTY & CASUALTY-H	2,540	2,100	3,794	74,034	保険	
WEICHA I POWER CO LTD-H	1,190	900	1,350	26,356	資本財	
CHINA PACIFIC INSURANCE GR-H	900	900	2,784	54,327	保険	
CHINA LIFE INSURANCE CO-H	1,750	—	—	—	保険	
CHINA STATE CONSTRUCTION INT	4,100	3,100	3,081	60,118	資本財	
FAR EAST HORIZON LTD	4,200	3,200	2,246	43,827	金融サービス	
WASION HOLDINGS LTD	1,500	1,000	1,272	24,816	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CHINA MERCHANTS BANK- H	1,125	975	4,695	91,611	銀行	
BOSIDENG INTL HLDGS LTD	5,500	5,500	2,414	47,106	耐久消費財・アパレル	
FUYAO GLASS INDUSTRY GROUP-H	—	220	1,586	30,946	自動車・自動車部品	
BOC AVIATION LTD	370	370	2,553	49,809	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	65,564	56,485	60,310	1,176,658	
	銘 柄 数 <比 率>	24銘柄	25銘柄	—	<77.3%>	
(中国)		百株	百株	千オフショア・人民元	千円	
DONG-E-E-JIAOCO LTD-A	450	450	2,132	45,274	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INNER MONGOLIA YILI INDUS-A	—	699.36	1,936	41,121	食品・飲料・タバコ	
MIDEA GROUP CO LTD-A	300	300	2,178	46,249	耐久消費財・アパレル	
FOCUS MEDIA INFORMATION TE-A	2,000	3,000	2,313	49,115	メディア・娯楽	
KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	9	9	1,305	27,730	食品・飲料・タバコ	
GREE ELECTRIC APPLIANCES I-A	280	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
JIANGZHONG PHARMACEUTICAL-A	900	900	1,953	41,471	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小 計	株 数 ・ 金 額	3,939	5,358.36	11,818	250,963	
	銘 柄 数 <比 率>	6銘柄	6銘柄	—	<16.5%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	69,573	61,913.36	—	1,456,107	
	銘 柄 数 <比 率>	31銘柄	32銘柄	—	<95.7%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2025年10月15日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 1,456,107	% 88.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	181,586	11.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,637,693	100.0

※期末における外貨建資産（1,519,944千円）の投資信託財産総額（1,637,693千円）に対する比率は92.8%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=151.67円、1香港・ドル=19.51円、1オフショア・人民元=21.234円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年10月15日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,637,693,670円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	173,820,649
株 式(評価額)	1,456,107,249
未 収 配 当 金	7,765,772
(B) 負 債	115,500,000
未 払 解 約 金	115,500,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,522,193,670
元 本	271,897,644
次 期 繰 越 損 益 金	1,250,296,026
(D) 受 益 権 総 口 数	271,897,644口
1万口当たり基準価額(C/D)	55,984円

※当期における期首元本額318,643,353円、期中追加設定元本額3,403,985円、期中一部解約元本額50,149,694円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

三井住友・インド・中国株オープン 183,965,290円
三井住友・中国A株・香港株オープン 87,932,354円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2025年4月16日 至2025年10月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	70,789,852円
受 取 配 当 金	70,331,730
受 取 利 息	458,122
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	311,502,488
売 買 益	343,968,614
売 買 損	△ 32,466,126
(C) そ の 他 費 用 等	△ 874,140
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	381,418,200
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,077,232,117
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 219,950,306
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	11,596,015
(H) 合 計(D+E+F+G)	1,250,296,026
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,250,296,026

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。